

佐伯山の会

まど

321号



2016

May

5月

目次

contents

●案内 登山講座＆新入会員講座Ⅳ（机上） 3

●山行案内

- ・ 6 月定例会 孝霊山、大山 4
- ・ 6 月山域研究③ 玖島平谷～大峰山 4
- ・ 7 月例会山行 朝日岳・月山・鳥海山 5
- ・ 6 月定例会 猿政山（クリーンハイク） 5

●山行報告

- ・ 「押ヶ峠断層」を歩く 6
- ・ 新入会員歓迎山行 宮島 7
- ・ 金尾松山山菜採り山行 8
- ・ 伊吹山 10

2016年 新入会員講座Ⅱ机上講座 記録 12

バリエーション通信 13

2015 年度 第1回運営委員会議事録 15

定例集会の報告（議事録） 16

行事予定 18

今年度新入会員 及び 未受講会員各位

2016年度 登山講座 & 新入会員講座Ⅳ(机上)

1 回目の机上講座にはお忙しい中たくさんの出席有難うございました。

会の規約等の講座中心でしたが
今回はより実践的な内容で講座を開催です。

新入会員及び在籍会員未受講者対象に
多くの皆さんの参加をお願いします。

【日 時】2016年6月11日(土) 9:15~16:00

【会 場】廿日市串戸市民センター(2階第一研修室) ※前回と変わります。
＜昨年度の定例会会場です＞

【日 程】

1. 安全で楽しい山の歩き方 9:15~10:15

2. 登山と栄養、トレーニング 10:20~11:20

3. 地形図の読図 11:30~12:30

道迷いを防止するための地図に線入れや読図をいっしょにしましょう

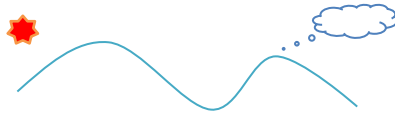
———＜昼食 12:30~13:30＞———

5. ハイキングレスキュー(ロープワーク) 13:30~14:30

6. 沢登り(基礎編) 14:40~15:40

7. 連絡事項

※各講座短い時間ですが登山に必要な知識、技術、安全で楽しい山登りができる様一緒に勉強していきましょう。



山行案内

6 月定例会

孝霊山 (750m)、大山 (1709m)

- 【期 日】 6 月 4 日 (土) ~ 5 (日) 【山 域】 鳥取県
 【集合場所】 宮内串戸駅 【集合時間】 7 時 3 0 分
 【交通手段】 自家用車 【参加費用】 実費
 【行 程】 ・ 6 月 4 日 口宮内串戸駅 (7:30) → 登山口 (11:00) → 孝霊山 (13:00~14:00) → 登山口駐車場 (15:40) → 大山ゲストハウス寿庵 (18:00)
 ・ 6 月 5 日 口夏山登山口 (7:00) → 5 合目 (8:10) → 弥山 (9:30~10:15) → 5 合目 (11:05) → 登山口 (12:10) → 温泉 → 宮内串戸駅 (17:30)
 【装 備】 泊付きハイキングに適した服装、昼食・非常食、雨具、地図、ヘッドランプ、宿泊衣類等
 【地 図】 1/25,000 【リーダー】
 【申 込 先】 【申込期限】 5 月 2 0 日 まで
 【山行の呼びかけ】

孝霊山は大山が噴火した時の測火山で山頂からは大山の北壁が目の前に望め、日本海側の景色も素晴らしいところです。

大山は山開きのイベントに参加します。大山に夏の訪れを告げる「夏山開き祭」山頂で厳かな神事が行われ。前夜祭は大神山神社奥宮で神事後、参列者が約 2000 本の松明行列で参道を下ります。夜の闇に浮かぶ炎の川は圧巻。

山域研究③

玖島平谷 ~ 大峰山 (廿日市境界線)

- 【期 日】 6 月 2 6 日 (日) 【集合時間】 7 時 3 0 分
 【交通手段】 運転手付きレンタカー 【参加費用】 会規定による
 【行程】 宮内串戸駅 7:45 → 玖島平谷 8:45 → 三角点 878m 10:45 → 大峰山東峰 12:45 → (昼食) 12:45 ~ 13:15 → 大峰山西峰 14:15 → 大峰山登山口 15:50 → 宮内串戸駅 16:45
 * 自家用車の場合は回送時間が別途必要
 【装 備】 ハイキングに適した服装、昼食・非常食、雨具、地図、ヘッドランプ
 【地 図】 1/25,000 戸河内 【リーダー】
 【申込先】 【申込期限】 6 月 2 3 日 まで
 【山行の呼びかけ】

今回のコースは玖島平谷から境界線尾根に登り、まず三角点のある 878m ピークを目指し次に大峰山東峰 → 西峰と縦走路を進みます。大峰山東峰からは瀬戸内海の島々を遠望できます。境界線尾根から大峰山東峰までの縦走路は藪漕ぎの可能性がありますが、楽しさを探しながら歩きましょう。

7 月例会山行

朝日岳・月山・鳥海山

【期 日】7 月 6 日（水）～12 日（火）

【山 域】新潟・山形・福島・栃木

【集合場所】JR 広島駅新幹線ホーム 3 号車

【集合時間】5 時 50 分

【交通手段】JR 新幹線他

【参加費用】130,000 円程度

【行 程】

- ・7 月 6 日（水）広島駅→東京→仙台→山形駅→寒河江 BT→朝日町役場→タクシー→猿渡し橋～朝日鉱泉
- ・7 月 7 日（木）朝日鉱泉～鳥原山～小朝日岳～大朝日岳（昼食）～大朝日小屋
- ・7 月 8 日（金）大朝日小屋～西朝日岳～竜門山～寒河江～北寒河江～狐穴小屋～以東岳～以東小屋
- ・7 月 9 日（土）以東小屋～オツボ峰～大島小屋～泡滝ダム（昼食）→タクシー→大島高岡～鶴岡～駅前ホテル
- ・7 月 10 日（日）駅前ホテル→月山 8 号目～月山～牛首～姥ヶ岳～姥沢→西川→鶴岡→酒田駅～駅前ホテル
- ・7 月 11 日（月）駅前ホテル→林道終点～河原宿小屋～伏拝岳～七高山～新山～千蛇谷～国民宿舎大平山荘
- ・7 月 12 日（火）国民宿舎大平山荘→タクシー→象潟駅→酒田→新潟→東京→岡山→広島→宮内串戸

【装 備】食料・食（** 日夜、** 日朝・昼）、行動食、非常食、夏用シラフ他

【地 図】山と高原地図「朝日連峰」「鳥海山・月山」

【リーダー】

【申 込 先】

【申込期限】6 月 15 日

【参加者名】

【山行の呼びかけ】

今回のコースは、日本百名山で山形県東北随一の長大な縦走路の「朝日岳」と高山植物が山頂一帯をおおう修験の山「月山」さらにみちのく随一の霊峰「鳥海山」に登ります。

猿政山 (クリーンハイク)

【期 日】6 月 12 日（日）

【山 域】比婆郡高野町

【集合場所】JR 宮内串戸駅前

【集合時間】午前 7 時

【交通手段】自家用車 又はレンタカー

【参加費用】会車両規定による

【行 程】宮内串戸 7 時出発

【装 備】ハイキングに適した服装、昼食、非常食、地図、ヘッドランプ

【リーダー】

【申し込み】

【申込期限】5 月 30 日

【山行呼びかけ】（広島県側からの登山ができなくなりましたが、今は新道が来ているよう

地域研究 1

佐伯山の会の地域研究。一般登山道ではないルートを歩き、自分たちの山を再発見しようという山行企画。今年は十方山辺りから、県境を中心に順次南下して行こう。4月の山行は「押ヶ峠断層を歩く」。

好天が期待される日曜日、5名の強者が那須の集落に集う。取付きが不明。水田跡から畦道を登って行くが、不鮮明で行くたびも地図を見る。圧倒的な杉の香りに包まれる。標高600〜700mを歩くから、植林の中から今日は抜け出せない。タムシバが散り、ミツバツツジが咲く。林床にはスミレとイカリソウが目立つ。イカリソウが全盛期、可愛らしい花があちらこちらに咲く。初夏のチゴユリも顔を覗かす。

1時間でトリゴエ峠。ケルンバツドの777と797の鞍部に出る。荷物を置いて、急登し797の三角点へ立つ。曇り空の立岩山の展望が少し望めるだけだ。先へ進む。植林の中の不鮮明な道を変わず進む。那須に住み着いた木地師の生活域と言われるが、痕跡は分からない。炭焼き窯の跡を2個見つける。古の人々の生活に思いをはらす。イデガ谷、ツリンボウ谷を越えれば、坂根の部落への下りとなる。11時半ここで早い昼とする。



2016.4.24 調査

那須



坂根谷を渡り、山麓の植林の中を踏み跡を進む。道を間違えては引き返し、その道も崩落がありと少々ヤブ漕ぎを強いられる。この時期はイバラとカヤが厄介者だ。思っていた断層は全く見られない。崖や地面のズレなどは全くない。長い期間での浸食と森林の遷移で、普通の谷と山になっている。それでも植林のない50年前は何かしら不思議があつたのだろうか？ケルンバット669のピークを過ぎれば、後は押ヶ峠の集落へ下りる道を歩く。盛りのイカリソウが我々を迎える。

13時過ぎには押ヶ峠へ着く。畑仕事をしている老人と出合う。加計から時々ここへ戻り、畑と家の世話をしているという。古の山の暮らしを垣間見て、祖先の生活をしのぶ。

山 行 報 告

新入会員歓迎山行 宮島

【日 時】 4 月 3 日 (日)

【場所】 宮島 (包ヶ浦)

【参 加 者】

【コースタイム】 宮島棧橋 8:18…山辺の古径 8:30…桜眺望地 (登山口) …博奕尾鞍部 9:00…獅子岩分岐 9:26…大休峠 9:47…砲台施設跡 10:28~10:52…包ヶ浦キャンプ場 (歓迎会、昼食 11:16~13:55) …博奕尾 14:42…宮島フェリー乗り場 15:23 解散



春に3日の晴れなしと言うが今日も夕方からは雨予報。曇り空の下、幼子のあおいちゃんを含め

総勢23名の大所帯で宮島フェリー棧橋前を出発。山辺の古径を経由して満開の桜眺望地で衣服調整。時間も早いせいか絶景地にも拘わらず観光客はまばら。ここからかすかに踏み跡らしき道をアセビ、ヤブ椿を横目に時にはシカの忘れ物をよけながら博奕尾へと進む。

花見最後の日曜日で観光ルートは大変な賑わいだろうがこのルートは我パーティのみ。博奕尾鞍部からは弥山までの一般ルートなの

で道はしっかりしている。急登にも拘わらず、ビールの泡のお誘いで皆さん歩む速さは絶好調。獅子岩と大砂利分岐に到着。

大休峠まではなだらかな登り。大休峠から真南に砲台施設跡に下る。砲台跡は鬱蒼とした林の中に忽然と威圧的に現れた。日露戦争当時の軍部の力を覗き知ることができる。バルチック艦隊から広島の本営や軍港を守るために作られ大正15年に廃止になったとか。

ここからひたすら下り。歓迎会場の包ヶ浦のキャンプ施設へ。満開の桜咲く広場で別行動の、慣らし運転中の



と合流し、歓迎会の始まり。
メニューはカレーうどん。新会員の
自己紹介に始まり全員の自己紹介を
済ませ屈託のない会話に盛り上がり
酒も料理も底をつき歓迎会は終了。
昨夜徹夜で食事の準備をされた原田
さんご苦労でした。お蔭で怪しげな
料理人でも完食するほどのカレーう
どんができました。カンシャ感謝で
す。

帰りは博奕尾経由で栈橋へ。途中
からポツリポツリと傘恋しき肘笠雨。
家路に着くころには本降りの花チラ
シ雨。

新会員の皆さん如何でしたか。佐
伯の山の会は？ この雨が根付きの
雨になるといい!!。

記録: 浅井田

自主山行



金尾松山山菜採り山行

【日 時】4月20日(水) 晴れ

【参加者】

【コースタイム】宮内串戸 8:10…玖島 8:51…山菜採集地 9:20～10:50…金
尾松山 11:40…下山開始 13:34…玖島駐車場 14:40…宮内串
戸 15:20

晴 天の中の山菜採り、ザックに皮
の手袋をして鎌を持ちそうそう
たる出で立ちで、12名が玖島
に降り立ちました。

登山口にアケビの花 こごみ かんぞう等
があり、みんなで山菜談議が飛び交って、童

心に帰ったみたいで楽しそう。いざ出勤、ザ
ックを置いて思い思いに林の中に消えていき
ました方々から「 のこぎりある一
う」タラの芽があるけど高くて手がたわない
切って…黄色い声が飛び交う楽しいひととき
タラの芽に似たハゼの芽を見つけたり、コシ



アブラの芽は5枚葉で・・・やっと見分けがついたとか。

このタラの芽は最高、料亭に出せるとか、自分の取ったのを自慢しあっていた。金尾松山まで一直線に。お腹すいた～早く天ぷら食べたい沢山の木の芽が取れて今から料理。

のこしあぶらの胡麻和え、
、天ぷら用の大根おろしまで用意していただいてタラの芽 こしあぶらタケノコ えび 鶏肉 ちくわ などあつあつを頂く、これは高級料亭でも食べれない美味しさ他に差し入れのタケノコの煮物 ならずけ お寿司 お弁当まで出てきてご馳走様でした

金尾松山は四等三角点で、ちなみに 1等—18センチ 2～3等—15センチ 4等—12センチだそうです勉強になります。13：34たらふくの天ぷらと少々ビール腹で下山開始 長靴を履いてきた森田さん、水たまりで楽しそうでした。途中可愛い春リンドウの花を見つけました。いつもより早い山行きでしたが、心も、お腹も満腹の一日でした。用意していただいたありがとうございました。



伊 吹 山

【日 時】4月8日（金）～10日（日）

【参 加 者】

【コースタイム】

- ・4／8（金）大阪市内～阪神高速～名神高速～関ヶ原 IC～国道 365 号～伊吹山登山口
- ・4／9（土）伊吹山登山口 7:00～三合目 8:40～伊吹山 10:40～山頂周遊 12:10～三合目 13:40～伊吹山登山口 14:40～米原市泊
- ・4／10（日）米原市発 9:30～大阪市内

皆

さん、こんにちは。清家です。
今回も年に数回百名山を中心に
登るいつものメンバーと、滋賀

県が誇る伊吹山へ出掛けた。

4／8（金）23:20 大阪北浜を関西
組4名にて出発。名神高速を走り、2:00
に多賀SA着。ここで仮眠を取る。6:15
頃、すでに他のメンバーが集集場所待っ
ているとの事で、バタバタと朝食を取り、伊吹
山の代表的な登山道である「上野ルート」の
登山口に7:00頃到着する。この登山口には
登山協力金の受付がある。登山届を提出
し、7:15出発。伊吹山スキー場のゲレン
デまでうっそうとした林の中を静かに進む。
鳥たちのさえずりだけが聞こえる。この登山
道は道幅も広いので、人も多かったが、混雑
している感じはない。1合目に到着。広いゲ
レンデを登っていく。この伊吹山は稜線の平
らな道がなく、ほとんどが上り坂になる。ゲ
レンデなので、木がなく眺めがいい。振り返
るとうっすら琵琶湖が見えた。

ほどなく2合目に着き、ゲレンデを抜ける
としばらくはまた林の中である。そしてタク
シーでも行ける3合目（720m）に到着。
この3合目がひとつの起点であり、山頂へは
標高差であと約半分と思えばよい、と登山マ

ップには書かれてある。

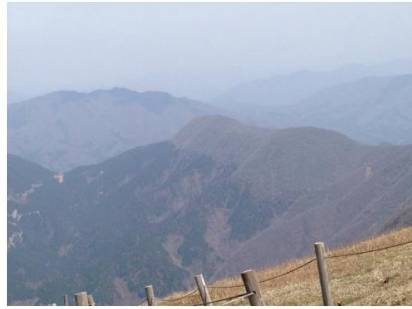
9:15避難小屋着。結構、
がっしりとした小屋であ
った。

そして6合目、頂上まで
2Km弱。ずっと登り。今

日はいい天気で日差しもあり、日陰がないの
もつらい。長浜の町も見えている。修行僧が
修行した「行道岩」があった。登山道もない
時代、厳しい修行を思わせる。道もガレ場が
続き、険しくなってきた。8合目を過ぎ、「手
掛岩」があった。昔、7合目より上は女性は
登ってはいけないと言われていた時代にここ
まで登ってきた女性へ強い風が吹きつけ、そ
の風に飛ばされないように必死に岩につかま
り、その指の跡が岩に残っているそうだ。

あと山頂まであと少し。建物が見えて来た。
そして10:40到着！ 1377m。大和武
尊の像があった。伊吹山寺もすぐ隣にある。
360°の眺め、春特有のうっすらとしたモ
ヤがかかっている。北側には白山の山並み、
西側には琵琶湖が見える。一等三角点を探す
と、少し離れた東側にあった。記念撮影や山
頂周遊後、昼食の準備をしようとした時にア
クシデント発生！





記念写真を撮り、右後ろのポケットに入れたはずの携帯電話を落としてしまっていたのだ。「こりややばいなあ」と思いながらあちこちを探すが見つからず、あきらめかけていた時に、たまたまマナーモードを頂上に着いた時に解除した事を思い出し、メンバーに電話を鳴らしてもらったところ、かすかにどこかで聞きなれた着信音が小さく聞こえてきた。その場所に近づいて行ったら、カップルの登山客が拾いあげて、「どうしようか〜」と話していた。やった〜！ あった〜！！ お二人にお礼を言い、ホッとした気持ちでお昼にした。

昼食後、一気に下山。浮石も多く足元に注

意しながら直登してきた道を下る。朝にすれ違った登山客と何回か再びすれ違う。どこが起点か分からないが、2回登る人が目立った。そして予定通り14:40下山。3合目から登山口までが長く感じた。駐車場に靴を洗うブラシ等が常備されていて使わせて頂く。その後、そばの発祥の地と言われるこの地域の名店、「伊吹野」で日本そばを味わい、伊吹薬草の里文化センターで汗を流して民宿へ向かった。

今日は天気も良く、時より気持ちのいい風も吹いて、楽しい一日を過ごすことが出来ました。